

松本地域は最近少し落ち着いていますが、全体的・全国的に見れば状況が好転しているとは言えません。私たちは、笑顔が素敵で人なつこい菅野の子どもたちに一日も早く再会したい！と願っていますが、緊急事態宣言が継続している中で、臨時休業中の登校日さえもままならない状態です。子どもさんが学校に行けない中、お仕事を抱えて奮闘して下さっている保護者の皆様にとっては、いったい学校がいつ始まるのかがすぐにでも知りたいことだと思いますし、再開した場合は、日課や学習がどうなるのかといったことが気にかかることだと思います。連休明けについては、今のところ県教委や市教委の判断が出されていませんが、現時点での見通しを以下に示しますのでお読みください。



学校が再開できるかどうかの判断は？

- 安倍首相が、全国を対象とした**緊急事態宣言の解除**をアナウンスして初めて、**学校再開を判断する手続きが始まります。**
- 解除された場合の次の段階として、**県（松本圏域）のレベルが2以下**と判断される場合に、**市の判断により**学校再開となります。（緊急事態宣言直前の松本圏域は『レベル2』でした。）
- 国が判断をするのは、連休が終わる直前になるのではと考えています。**学校再開か否かが決まり次第、学校連絡メールでお知らせします。
- いずれにしても、**臨時休業延長か、分散登校かの二択**です。



分散登校の実施方法について

- 給食がなく、半日日課という条件下では、兄弟一緒の登下校が可能、学級も分散されるため、授業中、密集・密接が緩和できるという利点のため、**学年別より地区別（2グループ）がよいと判断しました。**学級担任は、同じ内容の授業を2回行います。
- 14日までの1週間は、**隔日で3日間の登校**となります。さらに分散登校が継続される場合は、**それまでと同様の方法で継続**します。
- 分散登校の次の段階は、今のところ、**一斉登校で給食ありの短縮日課**になると想定しています。



休業中の課題について

- Web教材やオンライン授業等についての情報に触れる機会が多くなりました。学校からも**e-ラーニング**の紹介をさせていただきました。しかし、家庭環境やネット環境の違いにより、現実的には活用や実現は難しいと考えています。保護者が不在という状況で、子どもたちだけでネットを利用させるのは不安、という声も届いています。**お家の方がいる時に、無理のない範囲で一緒に**やっていただければと思います。
- 文科省は、**家での学習成果をもって評価することも可能**としていますが、これも現実的には難しいと考えています。臨時休業中長引く中、課題として新しい学年の学習内容にも踏み込んで出させていただいておりますが、家の学習のみで評価して終わるということではなく、**必ず学校で理解、定着の確認をしていきます**ので、ご安心ください。
- 授業時数をどのように確保していくか？さらに休業や短縮授業が続く場合、履修すべき学習内容にどう取り組むかは大きな課題です。**まだ全くの未定ですが、夏休みの短縮も検討材料の一つ**です。子どもたちにとって、無理のない範囲で行うことを大切にしたいと思います。

今、学校では・・・

この二ヶ月間で、校舎内に子どもたちの元気な声が聞こえたのは、卒業式、4月6（入学式）・7・8日の4日間。戦後、このようなことは一度もなかったと思います。子どもたちが来なくても、時間や月日は一時も止まることなく進んでいることに気づかせてくれるのは、校内で咲き誇っている花たちです。サクラとハクモクレンは散ってしまいました。パンジーやハナモモが咲いているうちに、学校を再開できればいいのですが・・・。

職員はいつ子どもたちが戻ってきてもベストな状態で迎えることができるようにと、必死に、そして明るさと笑顔を忘れないように毎日仕事をしています。

今年は、学校でどんな教育を目指すか、どんな学習をしていくかを定めた新学習指導要領のスタートの年。教科としての英語やプログラミング教育など新しい学習内容の導入、対話や体験を取り入れた授業の充実など、新しい教育が動き始めるわけですが、今、必要なのはそういった目新しいものではなく、**子どもたちが！学校で！安心して！勉強できる！そして遊べる！**日常です。そのことに今は集中して準備を進めていきたいと思っています。

今日も職員はいろいろな仕事をしています。分散登校を始めるために必要な話し合いや時間割づくり、新しい学習内容を教えるのに必要な教材研究、まだ必要になるかもしれない休業中の課題づくり、草取りなど外回りの環境整備などなど。でもやっぱり、私たちは子どもたちの前に立つことが一番の仕事でそれに勝るものはありません。そのような日を早く迎

えたいものです。

●●● ホームページの「学校の様子」に、少しずつ“菅野小の今”を掲載しています。

是非、子どもさんと一緒にご覧ください。 ●●●

子どもさんの様子はいかがでしょう

私たち大人がそうであったように、感受性豊かな子どもたちは多くの人とふれあい、あちらこちらを飛び回って体を動かし、思いっきり遊ぶことで多くの事を学んでいきます。そんな子どもたちにとって一番大切なことが奪われているのが今の状態です。

命が最優先される中では仕方がないことですが、頭で理解はしていても、子どもが子どもらしく過ごせない中では、やっぱりいろいろなストレスが貯まるのは当然のことです。我慢ばかりの生活が続き、今まではなかった心配な言動が見られるようになった、生活のリズムが崩れて昼夜が逆転しているなど心配なことがありましたら、学校までご連絡ください。校長、教頭、担任、養護教諭等、少人数で相談を受けることができます。また、スクールカウンセラーとの懇談も設定できますので、ご活用ください。

昨日夕方、東京都の新たな感染者数が39人というニュースを耳にしました。休み明けで検体数が少なかったということですが、それでも減少していることに少しだけ希望をもつことができました。新型コロナウイルスの感染は収束に向かっている、そんなニュースを一日も早く聞けることを願っています。